

管理所レビュー VOL.08

(H29.7.27 水源林管理所)

7月8日(土)の第8回のボランティア活動は、真夏の日差しが照り付ける蒸し暑い日となりましたが、予定どおりに間伐作業を実施することが出来ました。皆様、大変お疲れ様でした。

今回の活動日は、道志村でも最高気温が29度となりました。更に今後も暑い日が続く予報です。林内では日差しが遮られますが、風が通りにくいというえ、長袖やヘルメットなどを着用しているため、熱がこもります。熱中症にならないよう、こまめな休憩と水分、塩分の補給を心掛けましょう。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

1 71名のご参加、ありがとうございます！



真夏の日差しとなりました。



しっかりと体を伸ばしましょう。



補助ロープもしっかり装着。

2 作業の様子とワンポイントアドバイス。



始まりの会で注意点を共有。



周りのアドバイスが大切です。



受け口の高さはここだよ。



目標方向にまっしぐら。



ツルがしっかりと働いています。



補助ロープを使って上手に運搬。



足場と体制を整えて。



枝払いも安全な場所で。



傾斜地ではみんなで助け合い。

3 伐倒方向の状況確認をしっかりと！

今年度の活動地には、所どころにアカマツが生えています。アカマツは間伐の対象木ではありませんが、間伐木の伐倒方向にある場合には十分な注意が必要です。

今回、5班の間伐作業中にスギがかかり木となりました。ロープの引く方向などを変え、無事に倒すことが出来ましたが、倒れる際に枯れたアカマツに接触し、先端から約3mの部分が折れて他の木の枝にかかり、しばらくしてから地面に落下しました。幸い、作業者が伐倒木の枝払いに向かう前に落ちたので、事なきを得ましたが、タイミングによってはケガ人が出ていたかもしれません。

間伐の際には、伐倒方向の状況を十分観察して起こりうる危険を予知し、安全な作業を心掛けましょう。また、かかり木などにより、伐倒方向を変更する場合も同様に注意しましょう！



折れたアカマツの枯木。



落下したアカマツの先端。



枯れ枝の落下にも注意。

4 野生生物に気を付けましょう。

今回、9班の活動地内にクロスズメバチの巣が発見されました。

前回の活動から今回の活動までの間に作られたものと思われ、今後も活動地内でハチが巣作りをする可能性が考えられます。

巣を発見した場合は、ハチや巣を刺激しない行動をとり、管理所職員まで速やかに連絡をお願いします。

また、蚊やブヨ、マダニなども活動していますので、虫除けの対策もしっかり行いましょう。

※ 今回発見された巣は、後日、管理所職員が安全に除去しましたので、ご心配なく！



地面の巣に入るクロスズメバチ。

5 スギの伐倒に注意しましょう。

今年度の4～9班の活動地には、樹高の高いスギが数多くあります。そのため、かかり木になる可能性が高く、かかり木になった場合には、無理な力によって折れる場合や、スムーズに倒れた場合でも加速度が増すなどの危険性があります。

樹高の高いスギの伐倒には十分注意して、安全第一の作業を心掛けましょう！



4班



5班



6班

※ 7月28日（金）は、曇り、最高気温27度、降水確率40%の予報となっています。

★それでは7月28日、気をつけてお越してください。